

# 答 申 書

平成21年8月7日

宇都宮市上河内自治会議

## 1 はじめに

平成19年3月31日の市町合併に伴い、条例により設置された上河内自治会議は、今年で3年目を迎えました。市町合併時に策定された「合併市町村基本計画」の主要事業においては、これまでに、各種事業が着手され、合併後の効果が徐々に現れて来ております。

上河内自治会議は、市長の諮問を受けて、まちづくりの基盤とも云える「合併市町村基本計画」の主要事業が、より効果的かつ円滑に進むよう進捗状況を把握するとともに、事業執行に関し留意すべき事項等について審議を進めてまいりました。

今回の答申が、上河内地域が目指すまちづくりに、より近づくための一助となることを願います。

## 2 「自然と人が共生し 安心して暮らせる活力あふれる地域」をめざして

上河内地域では、活力ある地域社会を実現する方策として、合併後においても各種の事業が推進されており、その中でもスマートインターチェンジへの接続道路整備や中里原土地区画整理事業は、近々工事が終了し、実現される運びとなっております。

各種事業は、社会的状況や市域全体の公平性などの観点から、どれも同じ歩みということは難しいと思いますが、上河内地域の将来を考えたとき、更にはネットワーク型コンパクトシティを目指すうえで、宇都宮市の北部地域の拠点形成に大変重要なものです。そのため、上河内自治会議は、今回の答申に際して、地域の実態や緊急度を勘案しながら、各事業がより効果的なものとなるよう、進捗状況の結果と事業執行の際に留意すべき事柄について意見を述べております。

今後とも、「合併市町村基本計画の主要事業」が着実に執行され、これらの事業も活かしながら、地域特有の自然や文化を取り入れ、魅力ある上河内の創造を地域住民が一つになって進められることを望むものです。

### 3 合併市町村基本計画における主要事業の推進

#### ① 道路新設改良事業

(進捗状況)

道路新設改良事業は、市道10111号線の改良工事に着手し、いくつかの路線については、測量や設計が行われるなど、計画的に進められております。

< 参考－執行状況 >

事業内容	平成19年度	平成20年度	平成21年度
市道10111号線	道路測量・設計	改良工事	改良工事
市道13125号線	道路測量・設計	用地測量, 用地買収, 物件補償	用地買収, 物件補償
市道13421号線	道路測量・設計	用地測量, 用地買収, 物件補償	—
市道10101号線	道路測量, 用地測量	詳細設計	—

(留意点)

道路ネットワークを構築するための幹線道路や生活道路の整備は、地域の発展や生活基盤の確保に欠かせない事業であり、ネットワーク型コンパクトシティにおける各拠点とのアクセス向上にも寄与することから、今後も事業実施計画に基づく着実な整備が必要です。

なお、整備にあたっては、老人・こども・歩行者等の安全を確保するなど、交通事故が起こらないように周辺の道路事情を配慮しながら進めることが望まれます。

#### ② スマートIC恒久設置事業

(進捗状況)

スマートIC恒久化に向けた接続道路の整備は、平成21年度工事完成に向け着実に進められております。

< 参考－執行状況 >

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
事業内容	・用地測量委託, 用地取得, 改良工事(今里関白線交差点)等	・用地・補償, 改良工事(路体盛土工事)等	・舗装工事等

(留意点)

この事業の完成により、宇都宮市の北の玄関口として広域的な交流が見込まれ、産業や観光の振興などによる地域経済の活性化はもとより、市全体の均衡ある発展へとつながることから、整備後は早期開通に努めることが必要です。

また、フルインター化に伴い、スマートインターチェンジの出入り口付近は交通量の増加が見込まれることから、児童をはじめとする歩行者の安全を十分に考慮し、隣接する市道に歩道を設置するなどの安全対策を望みます。

### ③ 上水道事業統合整備

(進捗状況)

上水道事業統合整備は、今年度、水道拡張事業計画が策定される中で調査・検討する予定であり、現在のところ整備にはいたっておりません。

< 参考－執行状況 >

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
事業内容	・「水道拡張事業計画」の見直しに向け、課題や今後検討すべき事項などを整理	・配水管新設(中里町)	・水道拡張事業計画の策定

(留意点)

地域へ安定かつ安全な水を供給し市水道事業運営を効率的で効果的に推進するには、上河内地域における簡易水道（西部地区、東部地区）と専用水道を市上水道事業と一本化することが必要です。そのためには、統合にあたっての課題を早急に整理して、今年度中に水道拡張事業計画を策定し、完了時期を定め早期に統合整備を行うことが求められます。

#### ④ 公共下水道整備事業

(進捗状況)

公共下水道整備事業については、中里原土地区画整理事業地内で配管布設が終了するなど、地域内各所で着実に整備が進められております。

< 参考－執行状況 >

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道污水管渠築造工事（中里町ほか） 整備面積 2.9ha</li> <li>・特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事（下小倉町ほか） 整備面積 2ha</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道污水管渠築造工事（中里町地内ほか） 整備面積 8ha</li> <li>・特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事（下小倉町地内ほか） 整備面積 2ha</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道污水管渠築造工事（中里町地内ほか） 整備予定面積 17ha</li> <li>・特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事（下小倉町地内ほか） 整備面積 5ha</li> </ul>

(留意点)

公共下水道は、地域の生活環境の向上や自然環境の保全に重要であることから、引き続き計画的に整備するとともに、必要度の高い区域から、早急な整備を進めるなど、具体的な実施計画に基づく整備が望まれます。

#### ⑤ 児童の健全育成環境の整備

(進捗状況)

児童の健全育成環境の整備については、すでに、上河内中央小学校区域及び上河内西小学校区域に「子どもの家」が設置され、順次、整備が進められております。

< 参考－執行状況 >

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>《上河内中央小学校》</li> <li>・20年3月 上河内中央子どもの家施設完成</li> <li>《上河内東小学校》</li> <li>・子どもの家の移行等について今後検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>《上河内中央小学校》</li> <li>・20年4月 上河内中央子どもの家開設</li> <li>《上河内西小学校》</li> <li>・20年4月 上河内西子どもの家開設（既存施設利用）</li> <li>《上河内東小学校》</li> <li>・留守家庭児童会移転についての検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>《上河内東小学校》</li> <li>・上河内東小留守家庭児童会移転（学校内既存施設）</li> <li>・上河内東小留守家庭児童会施設解体</li> </ul>

(留意点)

今後、上河内東小学校区域においても、速やかに「子どもの家」を設置することが必要です。整備に際しては、子どもたちの安全管理・事故防止について十分配慮した施設とするとともに、管理運営面についても、地域の声を十分に反映し、利便性の高い施設とすることが望まれます。

なお、「子どもの家」の整備・運営については、地域住民に対する積極的な情報提供が望まれます。

## ⑥ 中学校校舎整備事業

(進捗状況)

中学校校舎整備事業については、市全体として、平成27年度までに耐震化完了が計画され、上河内中学校においては今年度に特別教室の耐震2次診断が予定されており、整備に向けた準備が進められております。

(留意点)

自然災害など不測の事態から生徒の安全を確保するためには、早急に耐震化の計画的な実施が必要であり、さらには、日常活動時の安全面を配慮するために、バリアフリー化についても早期対応が望まれます。

## ⑦ 中学校体育館整備事業

(進捗状況)

中学校体育館整備事業は、市全体の整備計画の中で、上河内中学校体育館の耐震2次診断が予定されており、整備に向けた準備が進められております。

(留意点)

体育館は、生徒の授業利用だけでなく、災害時における地域の避難場所として大切な役割を果たす施設であることから、安心して利用できるよう整備計画に基づく早急な整備が必要です。

さらには、授業や部活動での利用など、公平な教育環境を確保するために、平成21年度設計予定の武道場についても早急な整備を望みます。

## ⑧ 生涯学習センター整備事業

(進捗状況)

生涯学習センター整備事業（体育館併設）は、今年度、全市的な生涯学習センター再整備の考え方を踏まえて整備内容について検討する予定であり、現在のところ整備にはいたっておりません。

< 参考－執行状況 >

	平成19年度	平成20年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・宇都宮市地域教育推進計画（第3次宇都宮市生涯学習推進計画）の策定</li><li>・上河内、河内地域の施設を計上するため、「宇都宮市スポーツ施設整備計画」を改訂</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・上河内体育館耐震実施設計</li></ul>

(留意点)

生涯学習センターは狭隘であり、また老朽化で痛みが激しいことから、利用者の利便性・安全性を考えると、再整備の方針を明確にして早急な整備を行うことが必要です。

また、生涯学習センターは、市民の生涯学習活動の支援・推進や、今後ますます必要とされる地域づくり活動にとって重要な施設であることから、整備に際しては、地域の声を十分に反映し、機能性の高い、利用しやすい施設とすることが望まれます。

なお、上河内体育館については、平成20年度耐震実施設計が終了していることから、早期の耐震改修を望みます。

## ⑨ 中里原土地区画整理事業

(進捗状況)

中里原土地区画整理事業は、平成21年度までに全体の85.2%の整備が行われる予定であり、平成22年度工事完成に向け着実に進められております。

< 参考－執行状況 >

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次造成工事，水路築造工事など</li> <li>・事業計画変更業務委託，物件調査等業務委託など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事（造成工事5.3ha，雨水管敷設工事240mなど）</li> <li>・業務委託（街区画地点測設業務委託，道路詳細設計業務委託など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事（造成工事など）</li> <li>・業務委託（街区画地点測設業務委託，地質調査業務委託など）</li> </ul>
進捗率	33.0%	61.5%	85.2%

※特別会計事業費（690百万円）に対する進捗率

（留意点）

良好な住宅地の造成は，定住人口を増やし賑わいのあるまちづくりを推進し，北部地域の魅力ある拠点の創造やバランスの取れた市域の形成につながるものと期待されます。完成後は，交通安全・防犯・学区・自治会加入など市民協働での課題解決が望まれます。

⑩ 農産物直売所等整備事業

（進捗状況）

農産物直売所等整備事業は，事業主体・整備手法の検討が必要なことや地域の状況を把握する必要があるなど課題も多いことから，現在のところ整備にはいたっておりません。

（留意点）

農産物直売所等の整備は，市民交流の拡大や市が積極的に取り組んでいる地産地消の推進・農業振興などへの直接的な貢献とともに，地域産業の活性化にもつながる事業です。

事業推進には，地域住民の機運の盛り上がりが必要ですが，住民の主体的活動のきっかけづくりや支援のために，本庁と上河内地域自治センターが連携して，地域の現状を把握するとともに，新たな道路完成後の交通事情や利用者状況を考慮した具体的な調査・検討などを行うことが望まれます。

## ⑪ 農道整備事業

(進捗状況)

農道整備事業は、毎年度、計画的に整備されており、平成19年度に延べ1,204m、平成20年度に延べ1,481mの整備が行われております。

< 参考－執行状況 >

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上田西芦沼地区 延長567.3m</li> <li>・上田西芦沼2地区 延長320.0m</li> <li>・今里地区 延長138.0m</li> <li>・芦沼地区 延長179.0m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上田西芦沼地区 延長363.0m</li> <li>・小倉南部地区 延長300.0m</li> <li>・小倉南部地区 延長106.0m</li> <li>・小倉中部地区 延長372.0m</li> <li>・小倉北部地区 延長340.0m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小倉中部地区 延長420.0m</li> <li>・小倉北部地区 延長250.0m</li> <li>・小倉北部地区 延長400.0m</li> </ul>

(留意点)

農道は、上河内地域の特色である農業をサポートするうえで、大変重要であり、効率的な農業振興を図るためにも、今後も引き続き計画的な整備が必要です。

## ⑫ 林道整備事業

(進捗状況)

林道整備事業は、毎年度、計画的に整備されており、平成19年度は今里羽黒山線400m、平成20年度は矢白線627mの整備が行われております。

< 参考－執行状況 >

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林道1路線(林道今里羽黒山線) 延長400m</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林道今里羽黒山線改良工事 L=60.0m</li> <li>・林道矢白線舗装工事 L=627.7m</li> <li>・高架橋の調査,工法検討,設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林道矢白線舗装工事 L=339.8m</li> <li>・高架橋工事執行(天ヶ沢橋 L=39.9m, 前久保橋 L=39.8m, 山口橋 L=42.8m)</li> </ul>

(留意点)

林道は、健全な森林の育成・保全・管理などの林業振興や森林資源活用のためにも重要なことから、環境対策に配慮したうえで、今後も引き続き計画的な整備が必要です。

また、老朽化が進んでいる東北自動車道に架かる林道高架橋3橋については、安全確保の面からも平成21年度中の整備を望みます。

### ⑬ 地域交流館整備事業

(進捗状況)

地域交流館整備事業は、交流施設のあり方や施設内容の検討が進められておりますが、現在のところ整備にはいたっておりません。

(留意点)

地域交流館は、農業体験など、地域資源を活かした都市間交流を促進し、地域発展を図るため、より一層の機能充実が求められています。このため、施設のあり方・施設内容の検討に合わせ、地域活性化に向けた事業の整理を行い、全市的な視点で交流の拡大につながるような拠点施設として、施設及び機能の拡充強化を図る整備計画の策定が望まれます。

### 【付帯意見】

答申を的確に行うために、各事業の進捗状況をより詳細に把握する必要があるため、今後は、各事業の具体的な全体計画（目標値）と進捗率も示していただきたい。

## 《合併市町村基本計画の地域別計画に位置づけられた 市北部における生活拠点機能の向上に必要な事業》

### 「魅力ある北部地域の拠点」づくりに向けて

第5次宇都宮市総合計画の将来像に掲げた「ネットワーク型コンパクトシティ」における北部地域の魅力ある拠点をめざすには、次に掲げる取り組みの推進が重要なものと考えます。

#### ○ 大型商業施設（仮称：モラージュ上河内）の誘致推進

大型商業施設の開設は、平成16年に事業者からの出店申出を受けて以来、関係機関や団体から積極的な支援を受けるとともに、旧上河内町においても積極的に誘致を進めるなど、地域を越えて多くの人々が切望する事業です。

上河内地域においては、今後、スマートインターチェンジのフルインター化に伴い、広域での交流・集客が見込まれることや土地区画整理事業による定住人口の増加など、北関東を代表する50万都市宇都宮市の「北の玄関口」として、拠点形成の基盤が着実に整備されてきています。これら基盤整備の効果を最大限に引き出し、地域の活性化と生活利便性の向上へと結び付けていくうえで、大型商業施設の誘致は、その核となる大変有効な事業です。

このことにより、ネットワークの結節点となる地域交流拠点の形成が促進され、名実ともに「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現へと大きく前進するものと期待されます。このように誘致予定の大型商業施設は、市北部における広域拠点を形づくる中核施設となりうるものであり、活力ある地域の創造、本市の求心力の向上に大いに寄与するものと考えます。

誘致に際しては、改正都市計画法の地区計画制度を活用して「開発整備促進区」を設けることが必要となるため、現在、策定作業が進められている「(仮称)第2次宇都宮市都市計画マスタープラン」の「地域別構想」においてこのことを明確に位置づけるなど、積極的な誘致推進に取り組まれるよう強く要望いたします。

## ○ 国・県道の整備

国道293号は、宇都宮市北部における広域交通の主要道路であり、中里原交差点の改良工事が進むなど、交通の円滑や安全性の向上が図られております。しかし、両側歩道の未整備区間があるため、今後も引き続き歩道整備を推進し、歩行者や自転車等の安全性向上が図られるよう、県への要望をお願いいたします。

また、主要地方道藤原・宇都宮線は、通勤・通学路や買い物など、中心市街地と上河内地域を結ぶ重要なアクセス路線であるとともに、周辺地域との交流を進める路線でもあります。このような重要性に鑑み、4車線整備工事の早期完成と現在の工事区間をさらに延伸し地域間の交通円滑化の推進に向け整備を進めるよう県への要望をお願いいたします。更に、県道小林・逆面線についても、スマートインターチェンジの接続道として日光や鬼怒川温泉への重要なアクセス路線であり、上河内地域北西部の生活道路でもあることから、早急に道路整備を進めるよう県への要望をお願いいたします。

## ～～ 審議の経緯 ～～

平成21年	4月13日	第1回宇都宮市上河内自治会議 合併市町村基本計画の執行状況について市長から諮問
平成21年	5月29日	第2回宇都宮市上河内自治会議 答申に向けた合併市町村基本計画の進捗状況確認のため現地調査
平成21年	6月25日	第3回宇都宮市上河内自治会議 答申書の原案作成に向けた協議
平成21年	7月23日	第4回宇都宮市上河内自治会議 答申書の原案を協議して確定
平成21年	8月7日	答申書を市長に提出

～～ 上河内自治会議委員名簿 ～～

会 長	太 田	正
副会 長	神 山	男
委 員	江 連	俊
委 員	手 塚	子
委 員	古 橋	一
委 員	江 連	功
委 員	小 野	男
委 員	柏 木	子
委 員	北 見	弘
委 員	北 見	夫
委 員	柴 田	男
委 員	鈴 木	男
委 員	手 塚	子
委 員	福 島	喜
委 員	横 塚	境
委 員	和 田	海
委 員	小 林	美
委 員	櫻 井	一
委 員	佐 藤	子
委 員	藤 井	和